

## 令和7年度 女子硬式テニス部の指導方針等と実績について

## 1 指導体制

顧問氏名		外部指導員氏名	資格等や経験
主顧問	加瀬 達人	岩崎 玲子	
副顧問	吉田 久仁子		
副顧問	逸見 由紀子		

## 2 年間目標

(1) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像	硬式テニスの正しい技術の習得をめざして練習に取り組み、自らの課題を発見する力、継続的に努力する力を身につけた生徒。
(2) 競技大会、コンクール、研究発表等の具体的到達目標	令和7年度の目標 インターハイ予選3回戦進出 (都立対抗テニス大会ベスト32)
(3) 地域貢献等の特色ある目標	田高生としての自覚を持ち、礼儀正しい行動を徹底することで、周囲から応援してもらえる女子硬式テニス部をめざす。

## 3 指導方針

(1) 技術や技能, 体力の向上	硬式テニスの「正しい技術、きれいなフォーム、多彩な攻撃」を身につけられるよう、部員個々の現状に合わせて日ごろの練習を進めていく。
(2) 公式戦や発表会への積極的な参加	技術習得の成果およびフェアプレーの精神を発揮する場として、インターハイ予選・新人戦・都立校大会・1学区大会に積極的に出場する。
(3) 他校との合同練習、練習試合、校外活動の設定	技術習得の状況に合わせて他校との合同練習、練習試合を計画する。 夏季に、合宿もしくは集中練習を計画する。
(4) 部加入率の維持、増加	未補修箇所が放置され、ケガの危険があるコートなので、部員数に応じて安全かつ安心して技術向上が図れるように配慮した練習をすることで加入率の維持をはかる。

## 4 指導内容・方法

(1) 体罰・暴言等のない指導	非科学的な練習を排除し、テニスの技術・フェアプレーの精神を学ぶことを通して、体罰・暴言のない環境を維持する。
(2) 生徒間の暴力禁止	コート内外でフェアプレーの精神を徹底する。勝敗に固執することによる暴言・暴力がない活動環境になるよう努める。
(3) 外部指導員の活用	今年度から目黒区テニス協会で指導員をしている方に年200時間程度指導をお願いしている。
(4) 事故防止・安全配慮	練習場所の危険個所を避けた練習メニューを組み、生徒の体力・健康状態を適切に把握して練習を進める。

## 5 主な年間計画

	月	内 容
1 学 期	4	インターハイ杯予選（個人）
	5	インターハイ予選（団体）
	6	
	7	都立対抗テニス大会（団体）
	8	夏季集中練習（予定）
2 学 期	9	新人戦（個人）
	10	
	11	新人戦（団体）
	12	
3 学 期	1	都立対抗テニス大会（個人）
	2	
	3	第1学区硬式テニス大会

## 6 活動日・活動場所

曜日	月	火	水	木	金	土	日
活動 場所		テニス コート		テニス コート		テニスコー ト（授業がな い土曜日）	

## 7 公式戦・大会等の実績

<令和6年度 公式戦> インターハイ予選 シングルス3回戦・ダブルス2回戦 都立対抗テニス大会ベスト64
--